

(様式第4号)

第7回上田右岸地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田右岸地域協議会
2 日時	令和5年10月23日 午後1時30分から
3 会場	豊殿地域自治センター 多目的ホール
4 出席者	天田委員、上原委員、永本委員、小川委員、金井委員、小林正人委員、小林みゆき委員、駒崎委員、塩入委員、竹内委員、田中委員、橋詰委員、宮下委員、柳澤委員
5 市側出席者	【事務局】星野中央地域振興政策幹、木嶋西部地域振興政策幹、横澤豊殿地域自治センター長、馬場豊殿地域振興政策幹、竹花地域内分権推進担当係長、近藤地域内分権推進担当主査、唐澤地域内分権推進担当主査、腰原地域内分権推進担当主査、芳池地域内分権推進担当主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年10月25日

協議事項等

次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 協議事項

(1) 分科会に分かれて調査・研究

上田右岸地域の課題について

分科会ごとに分かれて意見交換

【第1分科会:教育・福祉・子育てについて】

事務局で取りまとめた提言のたたき台について協議

以下、主な意見

- ・行政からの支援がなければ豊殿地域のデマンド交通も厳しい。
- ・現在のいじめの相談体制は中途半端で、その場限りの対応で子どもの気持ちを聞かない。不登校の生徒が増えていく。
- ・1時間でも学校にいれば、授業に出なくても不登校としてカウントされない。
- ・家から出られない子どもの世話で働けない人も多い。小中学校を卒業するとフォローする体制もない。
- ・子どもの居場所づくりが大切だ。学校の建て替えに合わせて、学童施設を敷地に建設できないか。送迎するにも敷地が狭く駐車場が少ない学童施設も多い。
- ・学校敷地内への学童施設の設置は学校が嫌がる。
- ・上田市立北小学校には地域コミュニティルームがある。
- ・上田市立北小学校には、市道の花壇としてフラワーロードがあり、大人と子どもがボランティアで管理している。子どもと一緒にいることが励みになる。
- ・放課後児童施設の設置は、学校の敷地を使うことができればよいのではないかな。
- ・学校の建て替え時に学童施設についても要望してきたが、何度言っても変わらない。
- ・学校に行けない子どもは様々な機関の連携が必要である。親だけで対応しようとしても大変だ。
- ・ある地区では子ども食堂を始めたが、企業のスポンサーが付いた。高齢者施設併設の自治会館の調理室を使用している。自治会長にボランティアの依頼ある。
- ・丸子地域のデマンドバスは行政が運行主体となっている一方で、豊殿地区や川辺泉田地区のデマンド交通は行政

からの支援がない。

【第2分科会：公共施設・事業について】

意見書案について事務局から説明及び意見交換

以下、主な意見

○上田図書館について

- ・施設について「〇年経過」という文言を入れた方がよい。
- ・「託児付き施設」という文言を入れてほしい。

○上田城跡公園体育館及び上田城跡公園第2体育館について

- ・大きな体育館だけではなく、地域体育館が別にほしい。
- ・適切な建設場所について言及した方がよい。

○上田市市営住宅について

- ・市としての基本方針、マスタープランをもっとはっきり示してほしい。(市営住宅の位置づけ)
- ・もっと集約化できないか。

【第3分科会：建設・産業について】

分科会としての提言の取りまとめ

以下、主な意見等

- ・「公共交通を軸にしたまちづくり推進のため、上田地域の公共交通機関にスムーズに乗車できるようにするための公共交通アプリ開発のお願い」とする。
- ・自動運転の無人タクシーが東京都で始まったようだが、上田市では無理だろうか。
- ・タクシーをもっと上手く利用できないか、ライドシェアは普及できないか。
- ・アプリ開発には、市民の意見が反映できるようにしてほしい。また、外国籍の人にも使えるようにする必要がある。
- ・障害のある人たちの移動手段として、デイケアなどの施設の送迎車が利用できないか。

4 事務連絡

【次回】第8回

日時：11月27(月)午後1時30分～

場所：中央公民館

5 閉会